

国家総合職 ガイダンス

担当 T A C 講師 山下

本日の予定

- 1 国家総合職の仕事と魅力
- 2 国家総合職試験の内容：1次試験から最終合格まで
- 3 もうひとつの国家総合職試験：教養区分試験
- 4 官庁訪問：内々定への最終関門
- 5 慶應義塾大学卒業者の入省先

どこかで
サプライズゲスト
登場！

1 国家総合職の仕事と魅力

わが国にプラスをもたらす

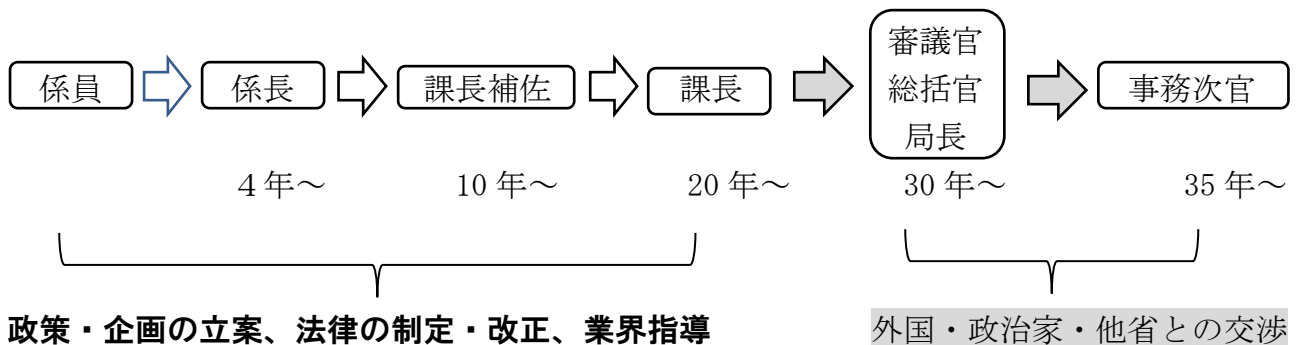
わが国のマイナスを減らす

これからのわが国をデザインする仕事
＝夢を持ってする仕事

※省・局・課とはどのようなイメージなのか？

役所		民間だと
省	⇔	業界
局	⇔	大会社
課	⇔	事業部

具体的にはどのような仕事をするのか？



※課長より上は競争⇒外れたら天下り(独立行政法人や関係業界の民間に再就職)

※また、途中で政治の世界(議員・首長)や学者の世界への転身もある

※省によっては地方への出向がほぼ確実に存在する＝転勤アリ

たとえば…

農林水産省 福井逸人さん(現在は文化庁・食文化担当参事官)

入省・本省事務官⇒経済企画庁出向⇒水産庁課長補佐⇒民間企業出向(株式会社ニチレイ・経営企画部)⇒栃木県課長⇒本省課長補佐⇒鹿屋市副市長(「踊る副市長」)⇒本省課長

2 国家公務員総合職試験の内容：1次試験から最終合格まで

1次試験(毎年4月最終日曜日)

①基礎能力試験(3時間 40問 多肢選択式＝マークシート)：配点2/15

知能分野(27問)

文章理解(11問)…現代文・英文の内容把握・空欄補充・文章整序＝並べ替え
判断推理・数的推理(16問・資料解釈を含む)

知識分野(13問)

自然(物理・化学・生物・地学)・人文(思想・日本史・世界史・地理)・社会(政治・経済・社会)・時事

2020(令和2)年 国家総合職本試験 基礎能力試験出題表

番号	科目	出題内容	番号	科目	出題内容
No. 1	文章理解	現代文(内容合致)	No. 21	数的推理	確率
No. 2	文章理解	現代文(内容合致)	No. 22	数的推理	割合の文章題
No. 3	文章理解	現代文(文章整序)	No. 23	数的推理	旅人算
No. 4	文章理解	現代文(空欄補充)	No. 24	判断推理	ブラックボックスの応用(SPI)
No. 5	文章理解	英文(内容合致)	No. 25	判断+数的	数量推理+確率
No. 6	文章理解	英文(内容合致)	No. 26	資料解釈	複数の実数資料
No. 7	文章理解	英文(内容合致)	No. 27	資料解釈	フローチャート
No. 8	文章理解	英文(内容合致)	No. 28	時事	宇宙開発等
No. 9	文章理解	英文(内容合致)	No. 29	時事	オリンピックや スポーツをめぐる状況
No. 10	文章理解	英文(文章整序)	No. 30	時事	人権問題等
No. 11	文章理解	英文(空欄補充)	No. 31	物理	物体の運動等
No. 12	判断推理	命題	No. 32	化学	酸と塩基
No. 13	判断推理	操作手順	No. 33	地学	天体
No. 14	判断推理	命題	No. 34	日本史	平安時代から室町時代にかけて の我が国の文化
No. 15	判断推理	対応+順序関係(期間)	No. 35	世界史	産業革命以降の英国
No. 16	判断推理	位置関係(方位)	No. 36	思想	中国の思想家
No. 17	判断推理	トーナメント戦+数量推理	No. 37	地理	世界の工業
No. 18	空間把握	折り紙	No. 38	法律	我が国の自由権等
No. 19	空間把握	立体パズル	No. 39	政治	現代における各国の政治制度
No. 20	数的推理	面積の最大値	No. 40	経済	我が国の税制

②専門試験(3時間30分 40問 多肢選択式=マークシート 丸数字は出題数)

配点 3/15

[政治・国際区分]

必須科目…政治学⑩、国際関係⑩、憲法⑤

選択科目 行政法⑤、民法(担保物権、親族相続を除く)③、経済学・財政学⑥、経済政策③、行政学⑤、国際法⑤、国際事情③から任意の15問選択

[法律区分]

必須科目…憲法⑦、行政法⑫、民法⑫

選択科目…商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥から任意の9問選択

[経済区分]

必須科目…経済理論⑩、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤

選択科目…経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法(担保物権、親族相続を除く)③から任意の9問選択

1次合格には何点くらい必要か？

2019年試験で、1次試験合格に必要なだった点数

(基礎能力試験：平均 15.852・基準点 12・網掛けは基礎能力試験 50%)

法律区分(基礎能力試験・専門試験ともに 40 点満点・専門試験平均点 18.441)

基礎	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
専門	29	28	27	26	25	24	23	23	22	21	20	19	18

経済区分(基礎能力試験・専門試験ともに 40 点満点・専門試験平均点 17.277)

基礎	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
専門	24	23	22	21	20	20	19	18	17	16	15	14	14

政治国際区分(基礎能力試験・専門試験ともに 40 点満点・専門試験平均点 16.439)

基礎	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
専門	25	24	23	22	21	20	19	18	18	17	16	15	14



基礎能力 50%でも専門 50~60%あれば合格できる

※院卒者試験 行政区分

(基礎能力試験 30 点満点平均 13.204・専門試験 40 点満点平均 20.559)

基礎	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
専門	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

2 次試験

①筆記試験(毎年5月第4日曜日)

専門試験(記述式 4時間) : 配点 5 / 15

[政治・国際区分]

政治学、行政学、憲法、国際関係A、国際関係B、国際法、公共政策A、公共政策B
の8科目から3科目選択

※公共政策A・Bを両方選択することが可能

[法律区分]

憲法、行政法、民法、国際法、公共政策A、公共政策Bの6科目から3科目選択

※公共政策A、公共政策Bの両方を選択することはできない

[経済区分]

必須科目 経済理論

選択科目 財政学、経済政策、公共政策A、公共政策Bの3科目から2科目選択

※公共政策A、公共政策Bの両方を選択することはできない

政策論文試験(記述式 2時間 1題) : 配点 2 / 15

…政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力。及び思考力についての筆記試験

②人物試験(毎年5月下旬から6月上旬) : 配点 3 / 15

…人柄、対人的能力などについての個別面接

最終合格には何点くらい必要か?

筆記で平均点レベル＝専門記述 50%＋政策論文 60%を取れば、人物試験がCランクで
合格できる ※院卒は記述のレベルが高いので 65%必要



この中でカギになるのが**専門記述で点を取る**こと⇒専門記述の準備が必要

☆どの区分にするのかは、最近はどの区分でも採用するのが趨勢ではあるけれど…自分の
専攻分野をベースに



経済区分で行くためには**数学アレルギー(特に関数)**があると困難を伴う

近年の試験実施状況

20 17	政治国際	995	117	58	20	17.1
	法律	8,576	1,032	504	180	17.0
	経済	1,641	437	210	75	7.8
	院卒行政	453	363	196	70	2.3
20 18	政治国際	1,048	122	63	25	16.6
	法律	8,529	1,002	471	165	18.1
	経済	1,654	426	194	70	8.5
	院卒行政	426	328	174	60	2.4
20 19	政治国際	852	160	86	30	9.9
	法律	7,614	965	449	160	17.0
	経済	1,438	345	168	60	8.6
	院卒行政	347	290	168	60	2.1

※英語試験の活用

	TOEFL iBT®	TOEIC®	IELTS	英検
15 点加算	65 以上	600 以上	5.5 以上	—
25 点加算	80 以上	730 以上	6.5 以上	準 1 級以上

上記の表のように、最終合格判定時に得点加算がなされます。とはいえ、この得点はそれほど大きいものではなく、合否判定ラインの総得点(令和元年試験だと 508～530 点)の概ね 5%にしかあたらないものです。

3 もう一つの国家総合職試験：教養区分試験

大学3年秋・4年春で受験する場合

	大学 3 年生							大学 4 年生								
月	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	～	4
国家総合職		秋試験						春試験			夏の官庁訪問			内定式		入省

☆1次試験(毎年9月下旬か10月上旬)

基礎能力試験Ⅰ(2時間 24問)・・・文章理解8問、判断推理・数的推理(資料解釈を含む)16問

基礎能力試験Ⅱ(1時間30分 30問)・・・時事3問、自然科学9問、人文科学9問、社会科学9問

総合論文試験(4時間 2問)・・・第Ⅰ部は政策の企画立案の基礎となる教養・哲学的な考え方に関するもの、第Ⅱ部は具体的な政策課題に関するもの

☆2次試験(毎年11月中旬の2日間)

政策課題討議試験・・・課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験

企画提案試験・・・ある課題について小論文を作成(2時間)、これについてのプレゼンテーション及び質疑応答を行う

人物試験・・・春試験と同じ面接試験

1次合格のためには(2019年試験)

基礎Ⅰ(24点満点・平均点10.0)	10	11	12	13	14	15	16	17	18
基礎Ⅱ(30点満点・平均点12.0)	22	20	18	16	14	12	10	9	9



最終合格のためには・・・総合論文(20点満点で12点 平均点 11.8)、政策課題討議(C評価 平均的評価)・企画提案試験(12点満点で6点 平均点 5.9)、人物試験(C評価 平均的評価)に少し上乗せできれば(2次のどれかの試験で一つ上の評価を得られれば)最終合格できる

4 官庁訪問：内々定への最終関門

開始…最終合格発表日の翌日午前8時30分から

期間…開始日から1週間＝第1・第2クール

⇒同一省庁に訪問日の翌日・翌々日は訪問不可

次の4日間＝第3

⇒同一省庁に2日連続して訪問不可

最後の2日間＝第4・第5クール

⇒連続訪問OK

2019年の例

月 日	6/26	6/27	6/28	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/8	7/9
	第1クール			第2クール			第3		第4	第5
A	○	×	×	○	×	×	○	×	○	○
B	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
C	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×



7月9日(12:00以降)に「内々定」が出る

⇔事実上の内々定はそれ以前に暗示されてはいる

※何をするか…原課(政策を作っているところ)・人事を含め様々な人と面接(面談に近いものもある)して、その省庁のカラーにあっているかどうかを判断される

※この官庁訪問をクリアしないと、就職できない⇒官庁訪問の倍率 2.5 倍程度

(人気官庁だと 6～7 倍に達する)

5 慶應義塾大学卒業者の入省先

2020 年(令和 2 年)慶應義塾大学の卒業者が入省した府省庁(○囲みは人数・？は非公表)

＜法文系＝政治国際区分＋法律区分＋経済区分＋人間科学＋院卒者行政区分＞

外務省⑤・環境省②・経済産業省②・警察庁③・公正取引委員会①・国土交通省②・財務省②・総務省②・内閣府②・農林水産省②

＜理工系＝大卒及び院卒の工学＋数理科学他＋化学他＞

経済産業省①・警察庁②・厚生労働省①・財務省②・特許庁②